



南雲和夫

スピーディーな行政運営を

一
般
質
問

「みんなで創ろう」活力ある未来の湯沢町」を期目、早や一年を迎えようとしている。しかしながら町長の「顔が見えない」、何をしたいのか「伝わってこない」と町民からも厳しい声を耳にする。行革、経済、福祉、教育、生活基盤整備、環境対策等といとまがないが、期待とよりスピーディーな行政運営を図るうえでリーダーシップを強く望みでの声と理解している。

人口8千300人の町、将来の町づくりにとって欠かすことの出来ないものであります。制度の進捗状況は、

町長答弁

職員がパイプ役となり、地域の課題を解決し地域の活性化を図ろうとする考え、情報の共有化を図ることが町民参加の町づくりに有効であるという考えには変わりがない。

町内担当者制度設置の進捗状況は

質問

現場に立ち、町民の生活を支える職員の幅広い能力の開発と向上を図ることは、

この制度については、年度中の制定を予定している町民参加による協働の町づくりを明文化した「町民参加条件」との関係が密接であることから、条例制定後に設置が必要であるのか。また、設置の場合にはそのルールづくりや方法等についても制度が有効活用されるよう、趣旨を踏まえ慎重に検討したい。

バイオマスタウン構想の進捗状況は

質問

可燃ゴミ委託先の関係者によると、運転から6年が経過する燃焼炉に過重な負担が生じており、将来を見据えたゴミの減量化等と早急な対策を取らざるを得ない状況とのことである。湯沢町のゴミ量の実態は観光客に準じて減少傾向にはある。このような事情からも

ゴミの減量化は、待ったなしの課題である。業務用生ゴミの循環型リサイクルシステムを先行したい考えを示しているが、進捗状況と併せ近隣市との連携をどう進めていくのか。

町長答弁

いち早く国の許可を受けたいが、その後についてはス

童画美術館建設の取り組みと進捗状況について

質問

町長の公約でもある建設推進については、雪国館を改修、増築との考えが示された。

「童画の町づくり検討委員会」の検討報告書では、湯沢駅東側地域、商店街の活性化と一体となった拠点展示施設を設置との意見が出ている。また、平成25年には公民館の指定管理者制度導入予定との考えもあることから、建設場所、管理運営方法等についても「町づくり」の観点からの幅広い視点にたった判断が必要と考える。判断にいたった経緯について伺う。

町長答弁

雪国館のバリアフリー化、川上家との条件緩和、経費面、お客の利便性等を考えたの事である。東口の活性化を含め考えをめぐらせていたこともありますが、検討委員会の皆様には機会を設けて考えを直接伝えたい。